

★申請方法について

ステップ ① 申請したいと思ったら

まずは、大学の先生や事務職員さんに相談してみましょう。本事業は、大学の教職員が団体の代表者である必要があります。

加えて、岡山市第6次総合計画の前期中期計画を読むことをお勧めします。また、事業実施の背景や地域のニーズ等について、できる限り、地域の方や関係する行政機関等の意見を聞いてください。

自分がやりたいことをするのは大事なことです。地域の方の思いも反映されるような取組となるように考えてみてください。

ステップ ② 申請書を書いてみよう！

本事業に係る要綱等及び申請書の様式は岡山市のホームページ (http://www.city.okayama.jp/kikaku/kikaku_t00051.html) からダウンロードできます。

記入のポイント

- 審査基準をチェックしよう！
- ステップ①で地域の方等に意見を聞いていたら、そのことも記載しよう！
- 協働する相手が見つからない場合は、ステップ③の申請相談会に参加してみましょう。協働する相手を見つけるために協力します。

ステップ ③ 申請相談会に参加しよう！

4月24日(月)～28日(金)の間で、大学別での申請相談会を開催します。活動内容や協働する相手など、お困りの点について、相談してください。

なお、相談会への参加にあたっては、**4月17日(月)までに**、申請書(未完成の状態でも構いません)を下記問い合わせ先までご提出ください。

ステップ ④ 申請しよう！

募集期間内に申請書類を提出してください。

募集期間	平成29年4月5日(水)～5月31日(水) ※郵送の場合は同日必着、持参の場合は午後5時必着
提出物	申請書類 5部 ※参考資料がある場合それらも5部
提出方法	下記問い合わせ先へ郵送又は持参にて提出 ※メール、FAX等での提出は受付できません。

問い合わせ先

岡山市政策企画課(大学連携担当)
TEL:086-803-1043 / FAX:086-803-1732
(※土・日・祝日を除く 8:30～17:15)
Mail: seisakukikaku@city.okayama.lg.jp
〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1番1号



岡山市は大学生のチャレンジを応援します!!

平成29年度

大学生まちづくり チャレンジ事業

募集期間

平成29年

平成29年

4月5日(水)～5月31日(水)



岡山市

★「大学生まちづくりチャレンジ事業」とは？

学生をはじめ若者の存在は地域に活力をもたらしています。地域づくりの次代を担う人材が地域に定着し、活躍できる環境づくりを進めていく必要があります。岡山市は、その一環として、大学生が地域や企業、NPO等と協働して取り組む地域における活動に対し補助金を交付し支援する「大学生まちづくりチャレンジ事業」を実施します。

「大学生まちづくりチャレンジ事業」は、地域貢献を通じて、社会が求める『実践力・実践知』を鍛える絶好の機会です！

★対象となる団体(グループ)

- 岡山市内の大学、大学院及び短期大学の教職員を代表者とした参加学生3名以上で構成されている団体(グループ)

★対象となる活動

- 岡山市内における地域課題の解決や地域活性化を目的として、行政機関、企業、NPO及び住民自治組織等との協働により実施される活動を対象とします。
ただし、政治活動、宗教活動、営利等を目的とするもの、他の補助制度の対象となっている活動等は除きます。

取組例

- 中山間・周辺地域の振興
- まちなかのにぎわい創出
- 観光振興
- 商店街振興
- 犬島での離島振興

以上に記載した取組は一例にすぎません。この例にとらわれない自由で独創的なアイデアに期待しています。

★補助金額

上限30万円 / 補助率 10/10以内

採択件数 10件程度(予定)

★補助金について

補助金は各大学に交付します。

補助金の対象となる経費

- ・交通費、宿泊費(活動先への移動にかかる費用など)
- ・消耗品費
- ・通信運搬費
- ・印刷製本費(資料などのコピー代、チラシの作成費など)
- ・保険料(活動に際して加入する保険料)
- ・諸謝金(講師や外部協力者に対する謝金など)

など

補助金の対象とならない経費

- ・各団体の運営のために支出する経費
- ・事務処理にかかる間接経費
- ・食糧費(講師等の弁当代は除く)
- ・備品費(3万円以上のもの)
- ・人件費

など

★スケジュールについて

① 書類審査 : 募集締切後 ~ 6月中旬

下記の審査基準に基づいて申請書類を採点し、得点が高い活動が補助活動となります。

審査項目	審査基準
活動のニーズ	活動の目的が、対象地域にとって必要性・重要性の高いものか。
効果	目的に対する効果が期待できる活動内容となっているか。
協働の深さ	学生と地域の双方が主体的に活動に関わることが出来るか。協働を通じた相乗効果が発揮されているか。
モデル性・将来性	学生と地域の連携モデルとして、他地域へ参考となる活動か。活動内容の深化や拡大、発展などが期待できるか。
アイデア・チャレンジ性	独創性やチャレンジ性のある活動か。
収支予算の適切さ	適切な収入・経費で予算を立てているか。

② 補助活動決定 : 6月下旬

③ 活動の実施 : 7月 ~ 1月末日

活動については、SNS等を活用した積極的な情報発信にも、ぜひ取り組んでみてください。

④ 実績報告書の提出 : 活動完了後20日以内

⑤ 活動報告会 : 2月中旬

優良事例の表彰も併せて行う予定です。